

◆IoT&AI <衛星レーザー通信は光ファイバー通信より0.07秒早い>

これはロンドンーシンガポール間の通信速度の話である。金融取引はハイ・フリークエンシー・トレーディング(HFT)が主流となり、「コロケーション」仕組みによる1秒間に数千回以上の超高速取引(高頻度取引)となっている。かつて、ロスチャイルド家はワーテルローの戦いで“A little bird told me (ちょっと小耳にはさんだもので)”で大儲けした。これからはoptical fiberとlaserのハードが金融の競争要因になり、第二のロスチャイルド家が出るかもしれない。ただ、HFTはフラッシュ・クラッシュもあり、ハードの処理速度の面から個人での運用は難しいとされる。



KW: HFT、コロケーション、フラッシュ・クラッシュ、レーザー、光ファイバー

- ・ 新興証券が勃興 主役はネット個人 (2月3日朝刊・平成の30年)
- ・ 國中均: 「日本が拓く太陽系宇宙大航海時代」 JAXA、日本技術士会新春記念講演 1月10日

◆成長戦略 <知の探索型イノベーションか知の深化型イノベーションか>

イノベーションは「知の探索」と「知の深化」の両方の活動が必要である。シュンペーターがいうイノベーションの新製品(サービス)の開発は前者、新生産方法・新マーケット・新資源・組織改革は後者、クリステンセンがいうイノベーションの新市場型破壊的が前者、ローエンド型と持続的が後者と考える。素材やデバイスに強い日本にとってIoTやAIを活用してモノからモノとコトへ大転換できるパラダイムシフトのチャンスを迎えたといえる。M&A、オープン・イノベーション、ベンチャービジネス、働き方改革、社内起業、ビッグデータからスモール・ミディアムデータなど自社と国内外の他社に成長戦略のヒント・芽は山ほどもある。範囲の経済をしっかりと押さえてわが社のイノベーションの実現を日ごとに図りたい。

イノベーション

- ・ 知の探索
- ・ 知の深化

KW: イノベーション、知の探索、知の深化、モノとコト、パラダイムシフト、ビッグデータ、IoT・AI

- ・ やさしい経済学 データ駆動型経済とは何か (7) (2月20日朝刊(経済教室))
- ・ クレイトン・M・クリステンセン他: イノベーションへの最終解、翔泳社 (2014年8月)

◆いちもくのナイスなことば

<「早寝早起き朝ごはん」 ~ “大人にも効く<sup>う</sup> 時間栄養学” ~>

時間栄養学

子供の心身や知育(偏差値)に効果があるとして文科省が薦めている標語。脳の主時計と臓器や血液にある副時計を同期させることにより体内時計周期(24.5時間)をリセットすることがポイント。主時計は朝の光で、副時計は朝食(睡眠後の最初の食事)でリセットできる。大切なのは朝、主・副時計を同期させリセットすること。睡眠障害、うつ病、肥満、糖尿病などの代謝障害や、免疫・アレルギー疾患、さらにがんの発症にも効く<sup>う</sup>とのこと。子供だけでなく大人の偏差値も上がるかも。😊

- ・ Waseda Weekly・柴田重信、NHK ラジオ他

<文責: 日本経営士会一木会 西満幸>